

学校名	猪苗代町立長瀬小学校	校長	佐々木 豊
住所	福島県耶麻郡猪苗代町大字八幡字山神374-2		
TEL	0242-66-2602	URL	http://www.town.inawashiro.fukushima.jp/cb/schoolhp/s-nagase/

思いやりの心を育てる道徳教育



長瀬小学校は、令和5年度に創立150年を迎える伝統校です。全校生74名はみんな仲が良く、全校でスポーツを楽しんだり、上級生が下級生の世話をしたりする姿が日常的に見られます。本校は、令和元年度に道徳教育推進校として、研究公開を行いました。そこから継続して令和3年度も道徳科の授業改善に取り組み、思いやりの心を育てる道徳教育に力を入れています。

道徳の授業の充実

児童がよりよく生きるための道徳性を養うため、全教員がコーディネートや板書の工夫などの授業改善を行い、「考え、議論する道徳」へと授業の充実が図られています。児童は、自他との対話を深め、実践意欲を高めています。道徳科の授業実践は家庭や地域へも発信し、連携を図りながら道徳教育を進めています。



日常の姿から

「朝の登校のことです。いつも通り元気なあいさつをしながら各登校班が校長の前を歩いていきました。ふと、ある班を見ると、先頭を歩く班長さんが1年生をおんぶしているではありませんか。どうしたのかとたずねると、1年生が転んでしまったとのこと。よく見ると最後尾の副班長さんも、転んだ1年生のランドセルを持ってあげていました。子ども達は「大変だ大変だ」と大騒ぎすることもなく、ごく当たり前のように自然に助け合っていたので、その様子にも感心しました。」

(学校だより6月8日号より抜粋)



全教育活動を通じた道徳教育

異なる学年が協力してボランティア活動を行っています。5月には、6年生が1年生の世話をしながら、花壇整備を行いました。上級生が下級生の活動を笑顔で手伝う姿が印象的でした。また、朝は代表委員会の児童が中心となり、あいさつ運動を行っています。子どもたちの元気なあいさつは、地域にも広がっています。



先生と一緒に長瀬マラソンで体力作り！

今から50年以上も前のことですが、長瀬には、6年生が下級生の面倒をよく見るという伝統がありました。当時、私は長い距離を歩いて通学していました。入学して間もなかった1年生のある風の強い日に、6年生が風よけになってくれて、吹き飛ばされそうな私を守りながら歩いてくれたのを今でもよく覚えています。上級生が下級生の面倒を見るのが当たり前で、それが今でも続く伝統なんですよ。(地区児童委員の方から)

